

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立静岡北特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	398人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子式ジグザグミシン
使用学年及び人数	高等部1～3年生 工芸班 6人
使用頻度	週3日
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンは高等部の作業学習の工芸班ミシン縫いグループで使用。 ・工芸班では、布製品を製作し、展示・販売している。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、ミシンの台数が足りず、布製品の種類を増やすことができなかったり、製品を多く作れなかった。今回寄贈していただいた高性能のミシンによって、ミシン縫いグループの生徒を増員することができ、製品の種類や量、さらに質も向上させることができた。 ・トートバック、パッチワーク風のパソコンカバー、巾着袋など幅広い製品が作りやすくなった。手元の明かりもLEDでとても見やす生徒も「使いやすいです。」と意欲的に作業学習に取り組んでおり、大変好評である。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンを活用し布製品を製作することを通じて、自己の課題や目標達成に向けて、成長する姿が見られた。今後は、さらに多くの質の良い製品を販売し、生徒たちが自信を持って作業できるよう、需要のある布製品の種類を考えたい。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンを寄贈していただきありがとうございました。今後も、大切に使用させていただきます。

2. 活用の様子

寄付いただいたミシンでパソコンカバーを製作中。



新製品 刺繍入り 弁当袋



新製品 厚みのある生地を使ったトートバッグ



新製品
麻機遊水地に生息する蓮の葉染めの布を使用した
パッチワーク風パソコンカバー

